

八王子市夢美術館では作品とともに八王子ゆかりの作家の様々な資料を保管し、調査・研究を行い展示に活用しています。ここでは、その一部をご紹介します。

## 小島善太郎資料研究

小島善太郎は児島善三郎、里見勝蔵、清水登之、林武らと現在まで続く独立美術協会を創立した洋画家です。その前身となった1930年協会の結成メンバーとしても知られています。

小島のもとには、1930年協会の立ち上げから独立美術協会の結成時にかけて事務方を担っていたため、多くの資料が残されています。きわめて事務的な金銭出納簿から展覧会の入場記録、絵葉書の売上帳、記念写真、はては昼食の出前表まで、昭和初期の画壇の状況が伝わってくる資料です。

また、画学生時代、パリ留学時代の画稿も多く残されています。特に解剖図を学んだ資料は、当時の絵画教育の実例として興味深いものです。

なお、小島の残した解剖図については帝京大学史学研究科(岡部昌幸教授)の研究室と調査を進めています。

小島善太郎の人と芸術について、今後も本サイトの内容を充実させ紹介していきます。

	前内	木義	木孝	野口	小島	佐伯	里見	林武	
17	ホロ	善	善	善	善		善	善	17
18	ハツ								18
19	ハツ								19
20									20
21									21
22									22
23									23
24									24
25									25
26									26
27									27
28									28
29									29
30									30

第2回1930年協会での出前注文表



解剖図(小島善太郎 太平洋画研究所在籍のころ)